

# 令和元年度 事業報告

## 1. 概況

令和元年度の契約金額は、新型コロナウイルス感染拡大防止による小中学校の臨時休校等の影響により、3月分は前年同月を下回りましたが、その他は殆ど前年同月を上回るなど、過去最高の1,315,023千円となり、前年度比2.8%増、金額にして35,897千円の増収となりました。

特に派遣契約は、人手不足分野である介護施設の支援業務や調理・食品関係業務、製造業の製品加工業務などの受注増により、前年度に比べ8.3%増の52,082千円の増収となりました。逆に請負・委任契約については、剪定、冬囲いなど外仕事の後継者不足や年度末における新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設閉鎖や各種イベント中止の影響もあり、16,185千円の減収という結果となりました。また、会員の働き方も徐々に派遣が増えて来ている状況から、請負・委任業務（48%）と派遣業務（52%）の割合が初めて逆転するなど、当センターが地域経済の下支えに大きく貢献して来ているものと考えます。

契約件数では、14,610件と前年度に比べ877件（公共△22、民間△173、家庭△682）の減少となり、請負・委任契約の減収に繋がる結果となりました。

会員数においては、各地域での出張説明会や1月から3月の会費無料キャンペーンのほか、女性会員限定のイベントや入会説明会など女性会員の増強を図った効果もあり、3,076人と前年度に比べ72人増加しました。

就業実人員は、2,591人（前年度2,523人）で68人の増加、就業率は84.2%（前年度84.0%）で0.2ポイント増加、就業延人員は、276,056人（前年度270,736人）と5,320人増加する結果となりました。

事故件数については、傷害、賠償事故あわせて43件（前年度43件）となり、残念ながら減少に至りませんでした。毎年発生する事故について、具体的な安全就業対策を施し、事故撲滅へ全力で取り組みます。

これからも就業意欲の高い高齢者の受け皿として、市民の暮らしのサポートと、地域経済の下支えを担う公益法人としての役割を果たしてまいります。

次のとおり、令和元年度事業実績の具体的な状況について報告いたします。